

タンポポの会だより(第37号)

2015/2/18発行 タンポポの会事務局

穏やかな年を念じて！

新しい年が明けましたが、会員の皆さんにはお元気でお過ごしのことと存じあげます。昨年引き続き政治、経済の激変に加え、異常気象が続くような昨今です。情報が錯綜し、価値観の違いが多様化する中で、正しい判断で自分自身を見失いたくないものです。

今年は干支で言う「未」「羊」年ですが、12年の巡り合わせで私も6回目の年男を迎えました。漢詩によりますと「未」は食物が実り、果実も実る状態で豊作への願いがあり、「羊」は群れをなす事から「家族の安泰」を表し、いつまでも「平和」で暮らす事を意味しています。また「未」の特徴は穏やかで人情に厚いとのこと。半分は当たっている気もしますが、自分に合った解釈で戒めと希望が持てればそれで良く、家族や他人に強要したり吹聴すべきではないと気持ちの整理をして新年を迎えました。

情報の発達でネット社会を作り出し、個人やグループ、団体の勝手な価値観を生み出し発信するという状況で、平穏を求める時に「人」とのかかわりの大切さを痛感しています。

昨年は講演「人生100年時代の楽しみ方」富山社会人大楽塾(柳原正年)さんの講演会で、久しぶりに笑い元気をもらいました。また、第6回の「作品展」(出品者5名)も開催できました。恒例の日帰り旅行に変えて初めて「名所探索と食事会」を致しましたところ、10名の参加がありよかったです。今後も継続していきたいと考えています。

私達の「タンポポの会」の年中行事に努めて参加いただくことによって、世間で言われている「期待される生涯現役」として、高齢化社会の到来の中、官民上げての大合唱です。これに異論はないですが、周りや本人が必要と受け止めていられることが前提と思います。

この会も早や成人式(20回総会)を迎えました。先輩方の継続する苦心を察すると共に会員が年々減少する中でも、あるがまま無理せず活動を継続してゆきたいものです。参加する事により同病の人との交わりが広がり、真の交友関係が出来るのではないのでしょうか。どうぞ 3月28日の20回定時総会も間近です。皆さんの元気な顔を拝見、歓談出来ることを楽しみに、是非多くの参加を頂くようご案内申し上げます。

(タンポポの会会長 菅原 昭)

泌尿器科の近況・・・新西診療棟1Fにて診療しております。

医 局 診療部長 池田大助 部長 四柳智嗣 医長 大筆光夫

スタッフ(外 来) 宮脇看護師 以下2名と事務員1名で対応しています。

(ストマー外 来開 皮膚排泄ケア認定看護師・・・木曜日午後泌尿器科(予約必要))

(入院1病棟6階 伊勢看護師長を始め、25名の看護師が三交代でお世話しています。)

総合的がん相談支援センター「がん相談支援室」・・・(新西診療棟2F)

がんに関する質問や相談に対応します。(もちろん無料です)・・・担当;前田看護副師長 厚生連・高岡病院の窓口として、「タンポポの会」の活動のサポートをしています。

タンポポの会・第20回総会のご案内

日 時 3月28日(土) 午前10時00分～11時45分

会 場 厚生連・高岡病院 2F研修室(I)

議 題 ①26年度活動と収支決算報告・・・(監査報告あり)

②27年度活動計画と予算案

③役員改選・その他

「ミニ講演」・たかおか新幹線アクションプラン・・・(予定)

高岡市 都市計画課

(高岡市まちづくり出前講座)



「名所探索と食事会」・・・国宝・高岡山「瑞龍寺」と門前レストラン「やすらぎ庵」
 昨年10月18日(土)10時に国宝・瑞龍寺の前に集まり、ボランティアガイド「保与の会」の狩野
 さんの案内で、国宝・瑞龍寺の山門・仏殿・法堂と順々に解説いただき、約1時間ユックリ見て
 廻りました。それぞれが質問したりし、いつもは漫然と見ていたものが、解説にて歴史を分かり、
 皆さんの感想も好評とのことでした。次に八丁道を歩き近くの門前レストラン「やすらぎ庵」で
 食事をしました。談笑しながら「越の国御膳」で旬の味を頂きながら、おしゃれな和の空間で
 ゆったりと”やすらぎ”と”憩い”のひと時をすごしました。



国宝瑞龍寺



「やすらぎ庵」

八丁道

(瑞龍寺見学で靴の履き違いがあり、折角の楽しみにケチが付き残念でした・・・注意と反省！)

[北陸自動車道]・・・3月1日14時～ETC専用の「高岡砺波」スマートICが開通。
 北陸新幹線「新高岡駅」まで車で約10分で行く事ができ、仕事や観光に大変便利になります。

「トワイライトエクスプレス」が今春引退！・・・県内を走る寝台列車が全て姿消します。
 大阪一札幌間を結び、日本一長い走行距離で知られる寝台特急「トワイライトエクスプレス」が、
 今春限りで廃止が発表されました。運行は1989年7月で大阪駅を正午前に出発し、高岡、富山
 など日本海側の駅に停車しながら、札幌まで495.7^{km}を約22時間。フランス料理が味わえる
 食堂車やサロンカーを備え、予約がなかなか取れない高い人気を誇った。
 ただ運行開始から四半世紀がたち、老朽化が問題になっていた。運行終了は例年、新ダイヤが
 決まり発表されるが、JR西日本広報部は「多くのファンのために早くお知らせ、最後に乗って
 いただける機会をより多く提供したい」としており、皆さんも検討されては如何かと記事にしました。

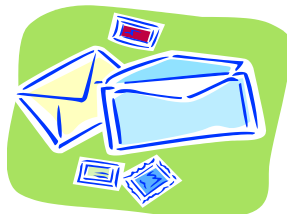
・・・県内を走った主な夜行列車・・・

「トワイライトエクスプレス」1989年7月～2016年春
 寝台特急「北陸」 1947年6月～2010年3月

夜行急行「きたぐに」1968年10月～2012年3月
 寝台特急「日本海」1968年10月～2012年3月
 夜行急行「能登」1975年3月～2010年3月

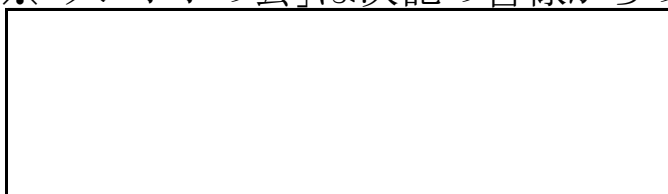
第55回「日本版画会展」上野・都立美術館 (平成26年11月・北日本新聞・掲載記事から)
 版画展は会期;11/17～24開催され、今年も会員の松本 弘さんの版画作品が「入選」しました。

「赤い羽根共同募金会」の助成決定
 (平成26年8月7日・決定通知あり)
 26年4月に3度目の助成申請の「タンポポの会」
 27年度事業のうち、7月の講演会が助成の
 対象事業に決まりました。
 今後、私達も今まで以上に
 赤い羽根共同募金に
 協力し共に助け合っ
 ていきたいと思います。



編集後記
 年3回(1月・5月・9月)発行をめざして
 いますので、会員各位の投稿が増えて
 「タンポポだより」が賑やかになるように、
 皆さんの投稿協力をお願いします。次の
 38号は5月末発行で5月5日締切です。
 リクエストで新コーナーを設けますので
 (仲間と集う・ちょっと一言・話題の窓・私の夢・・・)
 泌尿器科の外来窓口へご一報ください。
 (タンポポの会事務局)

※「タンポポの会」は次記の皆様からのご支援を受けています。



“自分の町を良くするしくみ”
 「赤い羽根共同募金会」
 毎年10月1日から12月31日まで赤い羽根共同募金が行われますので、私達も赤い羽根に協力しましょう！